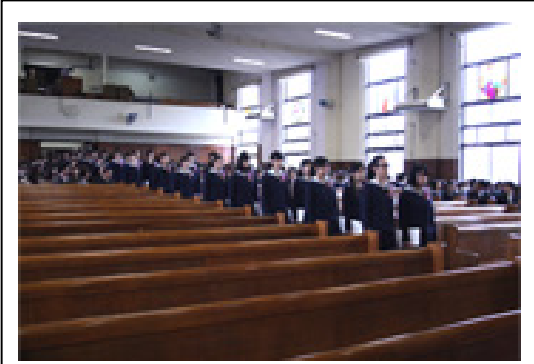


祝 第63回 活水高等学校卒業式 1号館チャペル最後の卒業式 2011.2.17(水)



県内の高等学校のトップを切り、第63回活水高等学校卒業式が、本校1号館チャペルにおいて行われました。被爆遺構(旧鎮西学院校舎)の上に補修・増築を行い1951年に完成・開校した1号館校舎。今年で60年目を迎え、老朽化により夏には取り壊されます。長年、親しんできた1号館チャペルでの卒業式も今年で最後となりました。礼拝形式で行われた式では、オルガンの伴奏で賛美歌を歌った後、神田校長より生徒一人一人に卒業証書が手渡されました。

校長は、「活水の学びを通して、原石に磨きがかかり、自己を尊ぶ自尊感情を持ち、自分のスタイルで何事にもめげず・怯まず・諦めない個が確立されました。また、知性と品位・美しさを備えた活水レディーに成長してくれ、自立した女性としての社会での活躍を期待します。」との式辞がありました。

卒業生を代表して、濱崎愛季さんが、「活水で過ごした3年間で多くの知識や希望を与えていただきました。培った知恵と感性を生かして具体的に行動できる女性となります。」と感謝の言葉を述べました。卒業生181人が、それぞれの思いを胸に学び舎から巣立ちました。

卒業式にあたり、PTA・同窓会役員・保護者の皆様のおかげにて、厳かな卒業式を無事終了できたことを感謝いたします。ありがとうございました。



たま ゆず

「魂譲り」活水伝統の儀式である魂ゆずりの今年のリボンの色は、

・純潔を表す「白」色と

・隣人への愛と奉仕の心を多くの人々に伝えていく豊かな人間性と学識を身に付けて欲しいとの願いから飾らない気品と誇り高い学識を表した「紫」色でした。

「活ける水」を汲む手桶たおけに2本のリボンを結んで、在校生に手渡されました。